

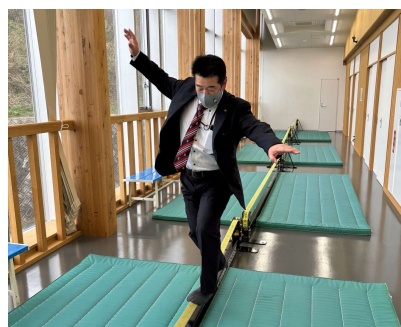


Asahikawa city councilor Hiroaki Takagi Suppouter Newspaper

旭川市議会議員

高木ひろたか連合後援会

2024年夏特別号 発行責任者：高木ひろたか連合後援会長 十鳥 隆



旭川の未来に向けて 益々の活躍を

高木ひろたか連合後援会 会長 十鳥 隆

日頃より高木ひろたか議員をお支えいただき、また私ども後援会の活動にご支援・ご協力をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。

長かったコロナ禍も「終息」と言えないまでも「収束」したとは言える状況にあります。物価高・燃料高は先が見えず私たちの生活は厳しい現状が続いています。

しかし岸田政権は、国民の厳しい現状に対し効果的な対策を講じることなく、一方で防衛費を大幅に増額するため、私たちの生活に直結する社会保障費の改悪を行おうとしています。

さらに、自民党による裏金問題は広がりを見せるとともに、その対処は「身内に甘い」と言わざるを得ず、再発防止に向けた議論も自民党の後ろ向きの姿勢に野党はおろか国民を馬鹿にしているとしか思えません。自民党による長期政権の弊害であり、今こそ私たちの生活を一番に考える政治への転換が求められています。

また、道内選出参議院議員のパワハラが大きく報道されているように、今ハラスメントが社会問題となっています。市議会に目を向けると昨年の改選で若い世代の新しい議員が増え、新たな発想や活発な議員活動が展開されていると感じる一方で、世代間による価値観・考え方のギャップも目に付くようになってきていると思います。社会の転換期にある現在、議会も変化が必要であり、3期目となった高木ひろたか議員の役割は、若い世代の議員とのつなぎ役であり、社会変化に応じた議会改革を中心的に進める役割であると思います。

新会派「旭川市民連合」を結成し、会派会長として若い世代の議員とともに私たちの生活を守り、旭川の未来に向けてこれからも皆様のご期待にしっかりと応えていくものと思います。

私たち後援会もこれからの活躍が楽しみであり、今後も高木ひろたか議員を支えてまいります。引き続き、皆様の変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



Asahikawa city councilor Hiroaki Takagi Report

旭川市議会議員

高木ひろたか

高木啓尊市政相談室
旭川市永山 10 条 12 丁目 3-3
Tel・Fax 0166(56)3882
http://www.takagi-hirotaka.jp
E-mail info@takagi-hirotaka.jp

旭川市議会レポート Vol.19 2024年夏号



中央図書館にインターネット環境の整備を求める要望書を提出

7月2日、今津市長に「旭川市立中央図書館にインターネット環境の整備を求める要望書」を提出しました。

図書館は資料の収集・保管の他、市民の学びや調査研究のサポートを役割としていますが、今はスマートフォン等を用いて読書時にわからない単語を調べたり、最新情報をチェックすることが一般的になっています。

道内他都市では図書館にWi-Fiを設置している自治体も多く、旭川市においても電子書籍サービスもスタートしているいま、設置を進めていく必要があります。

今津市長からは、「インターネット環境の必要性は十分理解できるものであり、セキュリティや費用の面など担当部局と協議し、前向きに検討していきたい」という回答をいただきました。市民が心地よく過ごし、学びや調査研究に活用できる図書館になるよう、期待しています。

新会派「旭川市民連合」を結成！ 気持ちも新たに、さらなる飛躍を

日頃よりお支えいただきご指導いただいている皆様に心から感謝申し上げます。また、会派内で発生したハラスメント事案について、地方経済雑誌等により報道がなされ、皆様にご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。

私自身会派の幹事長として、事実確認や当事者を含む会派全体での協議を実施するなど対応を図ってきましたが、役員間の情報共有不足により当事者双方の立場にたった取り組みとはならず、当事者2名について会派からの離脱という苦渋の決断に至りました。

会派とは、同一の理念、政策を中心として同じ考え方や意見を持つ議員の集まりであり、今回の離脱理由がその理念・政策の相違ではないことを考え、私は「誰ひとりとして見捨てることのない」対応として、現在の8名による民主・市民連合を4名ずつの2会派に分けることとし、離脱を決意した当事者2名とともに新会派「旭川市民連合」を結成することとなりました。

意欲ある若手議員との新会派結成で会長に就任し、会派を牽引していく役割は重責ではありますが、“市民の生活を守ること”を第一に、4名という少数会派の利点を活かし、会派内協議や情報共有に加え、本市施設の視察など行動力を持って進めてまいります。

高木啓尊

●1月行政視察（熊本市・出雲市・武蔵野市）



